

クロツヤヒゲナガコバネカミキリ コウチュウ目カミキリムシ科

Glaphyra hattorii (Ohbayashi)

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー なし

選定理由

本県での生息地は、手取川流域に限られ、しかも点在しているにすぎない。また、本県が国内分布の西限にあたると思われる。

形態

体長は5.5～7mmで、カミキリムシでは小型である。体色は黒色で艶があり、上翅は短く退化し、体形は細長い。オスの触角は体長を少し超える程度である。

国内分布

本州、佐渡島。

県内分布

白山市、能美市、川北町（以上、手取川下流部）、白山市（旧白峰村：手取川上流部）。手取川上流部での個体数は少ない。

生態

年1化で、幼虫は手取川河川敷に生えているアキグミの枯れ枝を食し、枯れ枝の中で蛹越冬する。標高の低い場所では4月～5月上旬に、標高の高い場所では5月中旬～6月上旬に出現する。手取川河川域から離れた地域での記録は確認されていない。

生息地の条件

大きな河川の河川敷で、アキグミの群生地があることが重要である。

生存の危機

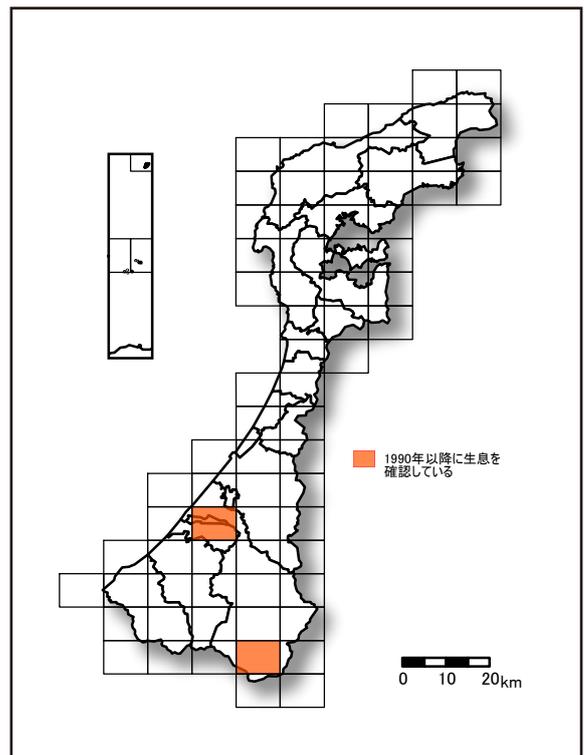
アキグミの生育する不安定な河川敷に適応した本種であるが、近年、下流部の河川敷の開発や公園化の進行、河川敷内の大規模な土木工事により、生息域であるアキグミ群落が縮小し、生息環境が著しく悪化している。(A)

参考文献

井村正行 1998. コウチュウ目カミキリムシ科. 石川県の昆虫：197-217. 石川県自然保護課.



写真提供者：富沢章



県内の分布